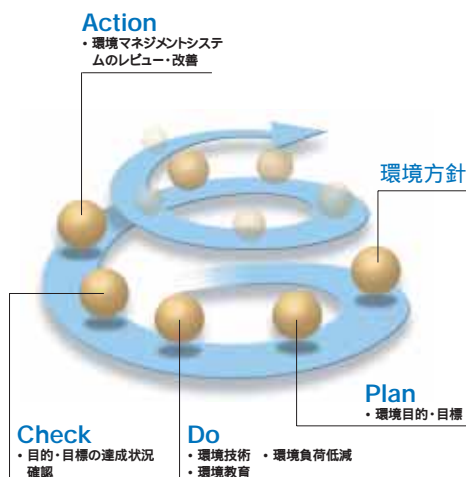




環境マネジメントシステム

地域と調和した環境マネジメントシステムへの取り組み。

富士通グループでは、国際規格(ISO14001)*¹に基づく環境マネジメントシステムを構築し、段階的かつ継続的に環境改善活動を行っています。環境マネジメントシステムは、環境負荷を低減するための一つのツールとして有効に活用。工場や事業所がある地域ごとに活動組織を作り、地域と調和した環境活動を行っています。また、Plan・Do・Check・Actionのそれぞれの段階においても改善をはかります。



環境マネジメントシステムへの取り組み

ISO14001の認証取得実績は次のとおりです。

富士通グループ

- ・国内・海外の関係会社、計77事業所(国内63事業所、海外14事業所)が認証を取得しました。

2001年度は、富士通マイクロエレクトロニクスと厚木テクニカルセンターの認証取得を計画していましたが、計画の見直しにより認証の取得を中止いたしました。

富士通

- ・国内製造全10工場認証取得完了(1997年度)
- ・主要な開発およびサービス関連の6事業所認証取得完了(2001年度)。また、環境マネジメントシステムは環境経営の基本であり、グループをあげて取り組むことが重要であるため、国内・海外の関係会社のISO14001認証取得も進めています。



開発・サービス事業所

環境に配慮したソフト・サービス部門(SE部門)として関西システムラボラトリーが認証を取得しました(2001年)。

サーベイランス審査*

認証取得済事業所(61事業所)については、サーベイランス審査において計226件の指摘事項がありましたが、すべて改善を行いました。

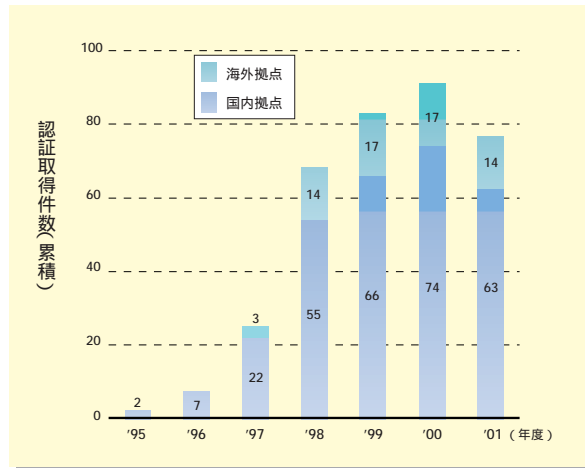
*サーベイランス審査:1年ごとに環境マネジメントシステムの有効性と改善向上の事実を確認するための審査



eco.fujitsu.com/info/eco20000816b.html

認証取得実績(富士通グループ)

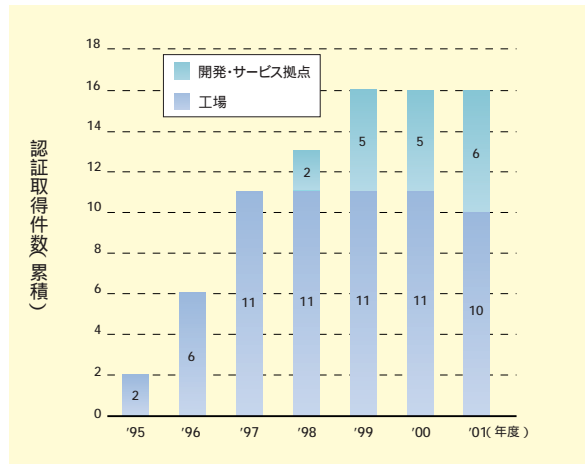
(単位:件)



2000年度までは、富士通グループ(関係会社)の子会社までを含めて集計していましたが、2001年度より集計範囲(持株率50%以上)を変更したため、認証取得実績数に差異が生じています。

認証取得実績(富士通)

(単位:件)



2001年度実績で、工場の認証取得実績数が1件減少していますが、これは富士通須坂工場が富士通メディアデバイス(関係会社)へ移行したため、認証取得実績数に差異が生じています。

グループ全体を対象にした主な活動内容

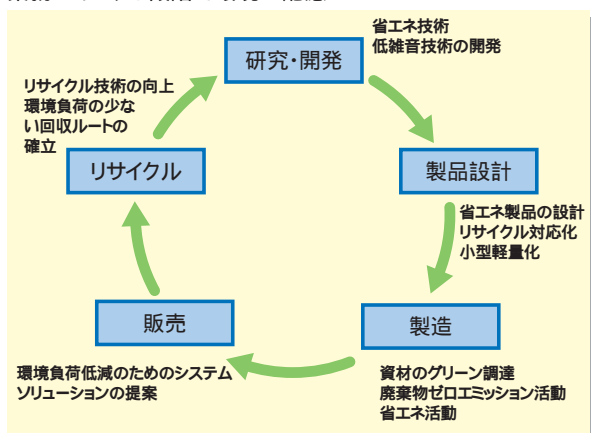
環境マネジメントシステムの改善

- 開発、製品設計、一般業務などすべての業務において、日常業務遂行の中で環境改善を行う仕組みを構築し、活動を開始しました。

環境講演会・説明会

- 環境意識の定着化のため、各工場・事業所において講演会、説明会を実施しました(計218回)。
- 環境マネジメントシステムのノウハウを共有するために、環境セミナーの開催、コンサルタントおよび規定類の提供を行いました(計18回)。
- 異業種(自治体・認証機関・コンサルタント・建設・機械)交流会を開催し、「環境ISOを活用した環境経営」についてパネルディスカッションを行いました(参加者:68名)。

業務のあらゆる段階で環境へ配慮



環境教育

- 環境教育内容を全面的に見直し、それぞれの業務(研究・開発、製品設計、一般業務など)に即した内容に改定し、イントラネット*を利用した教育を行いました(15,580人)。
- *イントラネットを利用した教育は、各人の都合のよい時間に、納得のいくまで教育を受けられるのが特長です。
- 内部環境監査員教育を44回行い、計678名の監査員を育成しました(登録内部環境監査員 累計2,386名)。また、内部環境監査員の資質向上をはかるため、フォローアップ教育を行いました。

ISO14001認証取得計画

- 国内・海外関係会社 3事業所
- 新光電気工業(更北)
 - 富士通長野システムエンジニアリング
 - 富士通高知システムエンジニアリング

内部環境監査

- 内部環境監査を実施し、2,142件の指摘事項をすべて改善しました。
- 内部環境監査時における不適合の格付基準を作成し、指摘事項に対する格付のバラツキをなくすようにしました(富士通川崎地区*)。

*富士通川崎地区は、川崎工場、中原ビル、小杉ビル、小杉タワープレイス、SSIビル、末長分室、クロスカルチャーセンター、富士通川崎病院、富士通研究所、あきる野テクノロジーセンターで構成。

想定緊急事態の訓練

- 緊急事態の発生が予測される場所41カ所において、緊急事態を想定した訓練を計131回実施しました(参加者:2,193名)。

灯油漏洩を想定した緊急時訓練



オイルフェンスを張り拡散を防止する(九州富士通エレクトロニクス)

冷却用フロン漏洩を想定した緊急時訓練



排水溝上部に土のうを設置し、下水への流入を防止する(富士通宮城エレクトロニクス)

取引先への対応

- 資材・製品用部品・材料の取引先1,222社および用益・サービスの取引先590社に対し、富士通グループの環境活動への理解と協力をお願いしました。

環境マネジメントシステムの向上

2002年度に予定している全社環境マネジメントシステム統合化にむけて、総合監査による拠点ごとのパフォーマンス把握および情報のオンタイム管理を推進していきます。